

依存問題の電話相談、3月に175件

新聞報道で相談が急増か。RSN開設以来、月別最多に

ばちんこ依存問題の相談機関であるリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）の発表によると、3月の電話相談件数だが、06年4月に開設して以来最多の175件となったことが分かった。また、昨年度（去年4月～今年3月）の総件数も集計され、計846件の相談が寄せられたことも明らかにされた。

RSNの広報誌「さくら通信」では、3月の件数急増について、「全国版の新聞にRSNの電話番号が掲載されたこと」を要因と分析。実際に、175件の相談のうち111件が新聞を見て電話したものだだった。

この記事が掲載されたのは読

売新聞の「医療ルネサンス・シリーズ」欄。3月10日から4日間に渡り、主婦が依存症になってから回復に向かうまでの経緯とともに、自助グループやRSNの電話番号を載せた。連載以降、依存問題に悩む家族からの相談が急増したという。

これまでの相談者の属性比率は、本人が約5割で、家族からは約3割。RSNの電話番号が記載された啓蒙ポスターを掲示するホールが増加したこともあり、本人の比率は増える傾向にあった。しかし3月は、本人からの相談が全体の約28%なのに対し、家族からは約61%と倍以上に伸びた。新聞報道を機に、普段ホールを訪れることがない家族の相談もすくい上げたかたちになったようだ。

先出の「さくら通信」では、「今までどこに相談していいかわからず苦しんでいる方々の多さに驚いた」とするとともに、「今回、新聞に掲載されたことにより、このような方々を掘り起こし、相談機会に繋げることができた」としている。

●昨年度のRSNへの相談件数推移

